2026年1月期
第2四半期(中間期)決算説明資料

不二電機工業株式会社

2025年9月2日
東証スタンダード市場
証券CD:6654

目次

１．2026年１月期（中間）決算概要（損益計算書） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3P

２．2026年１月期（中間）決算概要（製品群別） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4P

３．2026年１月期（中間）決算概要（売上高内訳） ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9P

４．2026年１月期（中間）決算概要（貸借対照表） ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10P

５．2026年１月期（中間）決算概要（キャッシュ･フロー計算書） ・・・・・・ 11P

６．2026年１月期（中間）設備投資 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12P

７．2026年１月期（中間）財務指標 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13P

８．2026年１月期（中間）マーケットシェア ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14P

９．2026年１月期（中間）決算概要（市場別売上） ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15P

10．2026年１月期（期末）業績予想（損益計算書） ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17P

11．2026年１月期（期末）業績予想（製品群別売上高） ・・・・・・・・・・・・・ 18P

12．株主還元 ・・・ 19P

参考資料

Copyright© FUJI ELECTRIC INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved.

1．2026年1月期（中間） 決算概要（損益計算書）

単位（百万円）

	2025年1月期	2026年1月期	増減額	増減率
売上高	1,990	1,908	△81	△4.1%
売上総利益	695	632	△63	△9.1%
販管費	475	496	＋20	＋4.3%
営業利益	219	136	△83	△38.1%
経常利益	236	160	△76	△32.4%
中間純利益	159	114	△44	△28.1%
1株あたり利益	28.73円	21.41円	△7.32円	△25.5%

【決算概要】

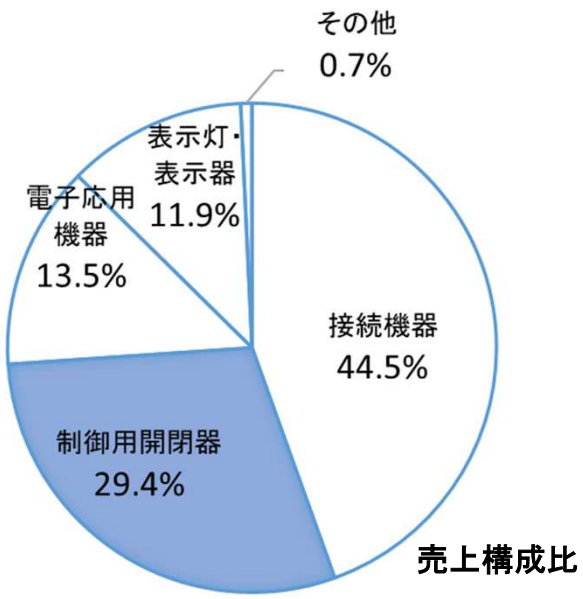
◆ 売上高は、制御用開閉器、接続機器で増収、表示灯・表示器、電子応用機器で減収の結果、前年同期比4.1%減の1,908百万円

◆ 中間純利益は、売上高が前年同期を下回ったほか、材料費の高騰や販管費の増加の結果、前年同期比28.1%減の114百万円

Copyright© FUJI ELECTRIC INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved.

2. 2026年1月期(中間) 決算概要(製品群別)

制御用開閉器



売上構成比

単位(百万円)

	2025年1月期	2026年1月期	増減額	前年同期比
売上高	490	561	＋71	114.5%
受注高	484	522	＋37	107.8%
受注残高	417	379	△38	90.9%

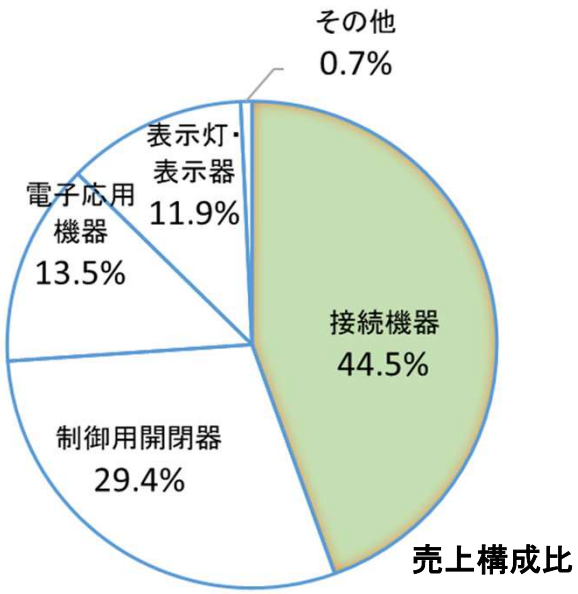
売上高　補助スイッチ、カムスイッチが増加

2026年1月期	(中間実績)	(通期予算)	進捗率
売上高	561	1,044	53.8%

Copyright© FUJI ELECTRIC INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved.

2. 2026年1月期（中間） 決算概要（製品群別）

接続機器



売上構成比

単位（百万円）

	2025年1月期	2026年1月期	増減額	前年同期比
売上高	799	849	＋49	106.3%
受注高	774	866	＋92	111.9%
受注残高	295	292	△2	99.0%

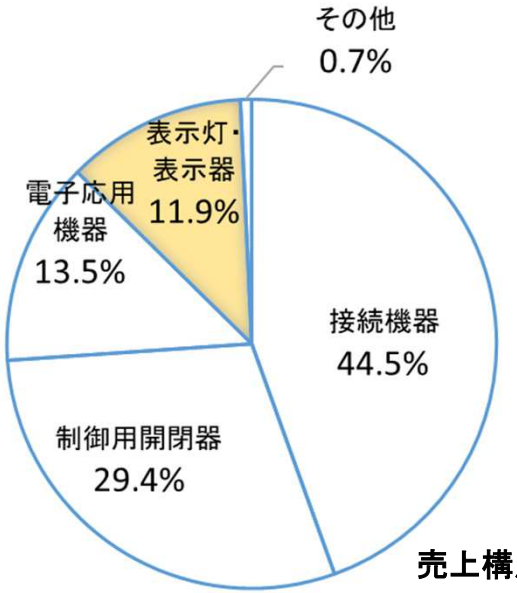
売上高　汎用端子台、サージアブソーバー端子台が増加
　　コネクタが減少

2026年1月期	（中間実績）	（通期予算）	進捗率
売上高	849	1,664	51.0%

Copyright© FUJI ELECTRIC INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved.

2. 2026年1月期(中間) 決算概要(製品群別)

表示灯・表示器



売上構成比

単位(百万円)

	2025年1月期	2026年1月期	増減額	前年同期比
売上高	240	226	△14	94.0%
受注高	205	213	+7	103.7%
受注残高	241	167	△73	69.7%

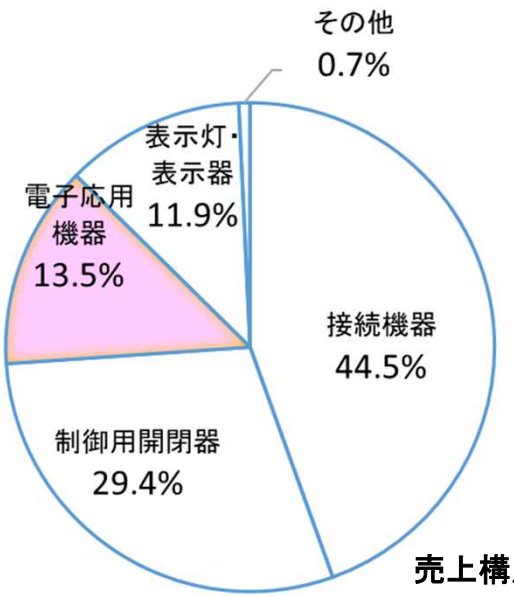
売上高　各種表示器、LED表示灯が減少

2026年1月期	(中間実績)	(通期予算)	進捗率
売上高	226	487	46.5%

Copyright© FUJI ELECTRIC INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved.

2. 2026年1月期(中間) 決算概要(製品群別)

電子応用機器



売上構成比

単位(百万円)

	2025年1月期	2026年1月期	増減額	前年同期比
売上高	388	257	△131	66.2%
受注高	255	288	＋33	113.1%
受注残高	298	239	△59	80.1%

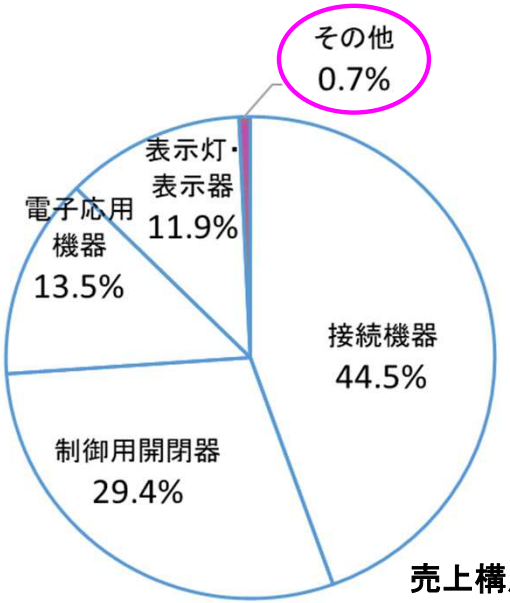
売上高　I／Oターミナルや表示モジュールが減少

2026年1月期	(中間実績)	(通期予算)	進捗率
売上高	257	605	42.5%

Copyright© FUJI ELECTRIC INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved.

2. 2026年1月期(中間) 決算概要(製品群別)

その他



売上構成比

(※)仕入販売は、2025年1月期をもって事業を終息

単位(百万円)

	2025年1月期	2026年1月期	増減額	前年同期比
売上高	71	14	△57	19.9%
受注高	3	25	+21	720.2%
受注残高	2	21	+18	752.8%

売上高　事業を終息した仕入販売の売上分が減少

2026年1月期	(中間実績)	(通期予算)	進捗率
売上高	14	40	35.5%

Copyright© FUJI ELECTRIC INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved.

3. 2026年1月期（中間） 決算概要（売上高内訳）

単位（百万円）

	2025年1月期		2026年1月期	
既存/新製品売上高	売上高	売上高比率	売上高	売上高比率
既存製品(※)	1,798	93.7%	1,818	96.0%
新製品(※)	120	6.3%	75	4.0%
国内/海外売上高				
国内	1,822	91.5%	1,713	89.8%
海外	168	8.5%	195	10.2%

(※)仕入販売・その他を除く

【決算概要】

◆ 新製品では補助スイッチ（制御用開閉器）が好調、
無停電交換用コネクタ（接続機器）が当初見込みよりも伸びず

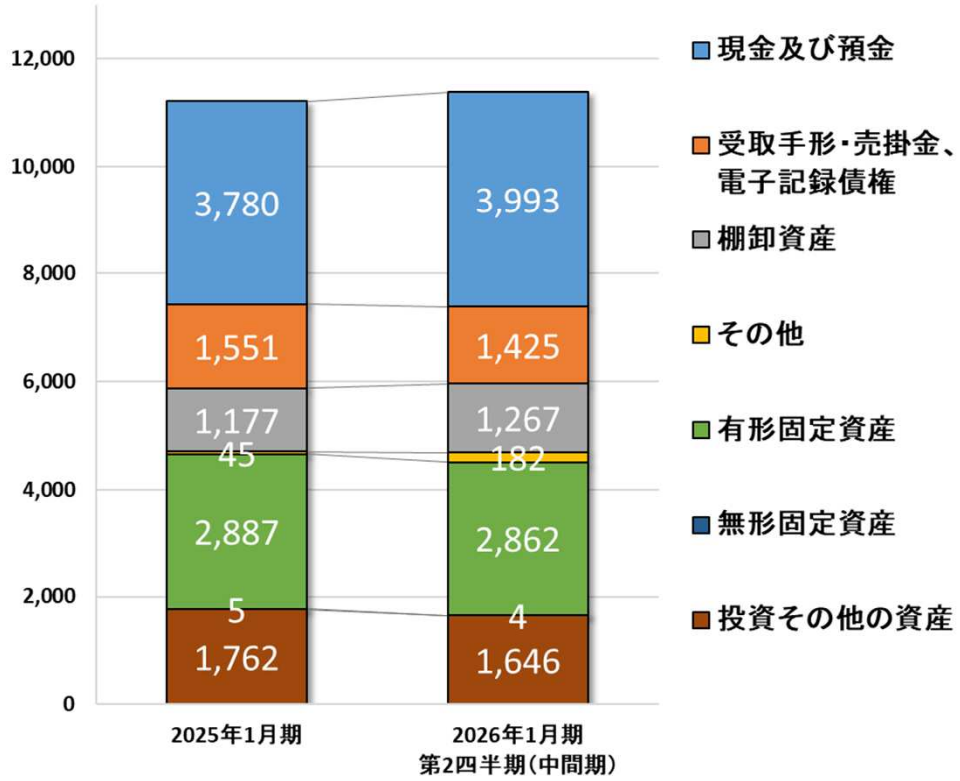
◆ 海外売上高は補助スイッチ・カムスイッチ（制御用開閉器）が好調

Copyright© FUJI ELECTRIC INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved.

4. 2026年1月期(中間) 決算概要(貸借対照表)

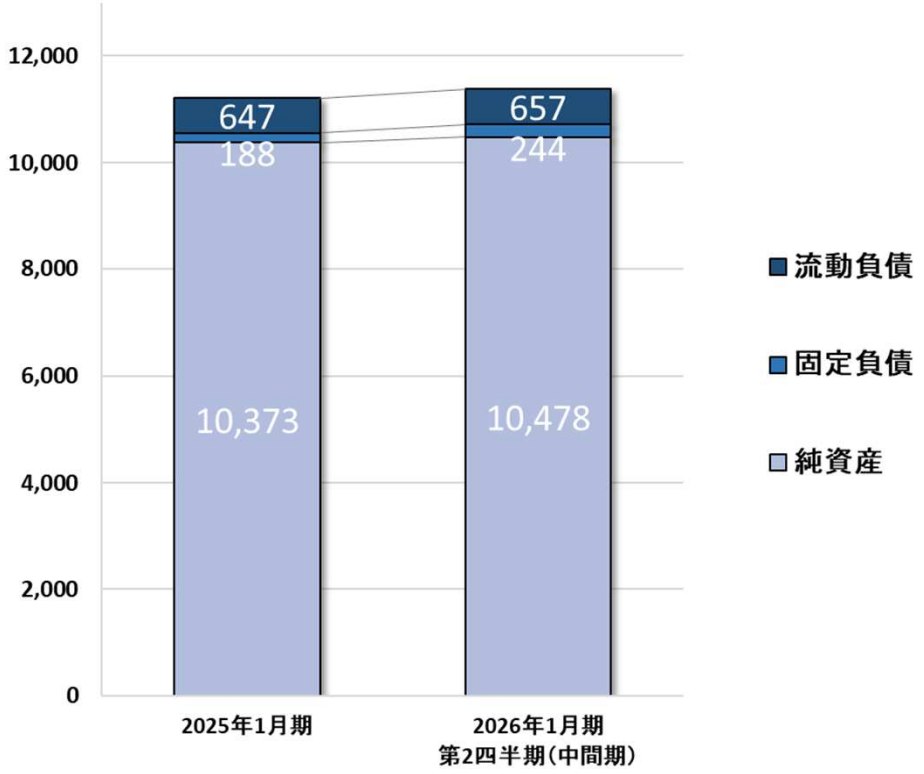
単位(百万円)

資産



単位(百万円)

負債・純資産



- ◆ 現金及び預金 212百万円増
- ◆ 売掛金 102百万円減

- ◆ 繰延税金負債 37百万円増
- ◆ その他有価証券評価差額金 70百万円増

Copyright© FUJI ELECTRIC INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved.

5. 2026年1月期（中間） 決算概要（キャッシュ・フロー計算書）

単位（百万円）

	2025年1月期	2026年1月期	増減額	2026年1月期の主な内訳
営業活動による キャッシュ・フロー	209	267	+58	税引前中間純利益　160 減価償却費　100 棚卸資産の増加　△ 89
投資活動による キャッシュ・フロー	△166	△468	△301	投資有価証券の取得　△100 有形固定資産の取得　△ 88
財務活動による キャッシュ・フロー	△104	△85	+19	配当金の支払額　△ 85
現金及び現金同等物の 増減額	△60	△287	△226	—
現金及び現金同等物の 期首残高	1,335	980	△355	—
現金及び現金同等物の 中間残高	1,274	693	△581	—

Copyright© FUJI ELECTRIC INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved.

6. 2026年1月期（中間） 設備投資

単位（百万円）

	2025年1月期	2026年1月期	増減額	増減率
設備投資	23	74	＋50	+216.2%
減価償却費	94	100	+6	+6.6%

【2026年1月期（中間）の主な設備投資】

・みなみ草津工場設備一部改修　37百万円
・金型投資　13百万円

Copyright© FUJI ELECTRIC INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved.

7. 2026年1月期（中間） 財務指標

	2025年1月期	2026年1月期	増減ポイント	算式
自己資本比率（%）	92.1	92.0	△0.1	自己資本/総資産
自己資本利益率（ROE）（%）	1.5	1.1	△0.4	当期純利益/（前期+当期自己資本）÷2
総資産当期純利益率（ROA）（%）	1.4	1.0	△0.4	当期純利益/（前期+当期総資産）÷2
売上高経常利益率（%）	11.9	8.4	△3.5	経常利益/売上高
株価収益率（PER）（倍）	39.7	48.9	＋9.2	株価/1株当たり利益
株価純資産倍率（PBR）（倍）	0.6	0.5	△0.1	株価/1株当たり純資産

Copyright© FUJI ELECTRIC INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved.

8. 2026年1月期（中間） マーケットシェア

単位（%）

	2025年1月期	2026年1月期	増減ポイント
カムスイッチ	49.0	50.4	＋1.4
押しボタンスイッチ	0.5	0.8	＋0.3
その他のスイッチ	13.7	13.5	△0.2
端子台	7.5	7.4	△0.1
表示灯	5.0	4.7	△0.3
アナンシェータ リレー	15.0	6.7	△8.3
その他の制御用 専用機器	10.9	9.1	△1.8

（注）1. 当社製品でNECA（一般社団法人日本電気制御機器工業会）の「出荷統計」品目に合致するものについて、出荷金額の比較によりマーケットシェアを算出しております。
2. 統計期間は、通期でNECA（4月～3月）と当社（2月～1月）において期間が相違しておりますが、比較の為、NECAの統計数字を当社期間に合わせ修正しております。

Copyright© FUJI ELECTRIC INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved.

9. 2026年1月期(中間) 決算概要(市場別売上)

重点市場の実績(2026年1月期) ～ 今後の市場見通し

(1)重電機器市場

<電力>
実績 99.0%(前年同期比)

✔設備投資(送電網増強)が継続

✔一部顧客において、電子部品の長納期化対策として手配された在庫の消化が一段と進み、徐々に手配が再開。

✔送電網の増強による設備投資が堅調に推移。特に変電所で使用される開閉器、変圧器は各社増産体制に移行。また、デジタル化に追随した新製品の提案を継続的に推進。

<公共・民需>
実績 106.2%(前年同期比)

✔省工数関連製品の拡大

✔公共関係の設備投資は堅調に推移。民需関係は大規模都市開発や 物流倉庫、データセンター向け省工数製品の引合いが増加。

✔建築・物流業界を中心とした人手不足の高まりを受け、顧客設備計画の工期延長が懸念材料。

<鉄道変電>
実績 66.1%(前年同期比)

✔既設更新案件の工期遅延

✔鉄道用変電所(既設更新)案件の再開により、新規受注が進む。

✔鉄道事業者の業績回復を受けた設備計画の見直しに期待。また、デジタル化に追随した新製品の提案を継続的に推進。

Copyright© FUJI ELECTRIC INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved.

9. 2026年1月期(中間) 決算概要(市場別売上)

重点市場の実績(2026年1月期) ～ 今後の市場見通し

(2)鉄道車両市場

実績 83.5%(前年同期比)

✔新型車両生産数の低下

✔新型車両の生産数は低調な状況が25年度も継続。

✔ワンマン化など省人化ニーズの高まりを受け、対応製品の提案を推進。また、新型車両においては、省施工に寄与する配線付製品を積極的に提案。

(3)海外市場

実績 115.3%(前年同期比)

✔中国、インド他HV市場増加

✔パートナー商社と連携した現地企業とのアライアンス強化の継続及び開拓。

✔品質重視の重電市場への提案強化。

Copyright© FUJI ELECTRIC INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved.

10. 2026年1月期　業績予想（損益計算書）　修正なし

単位（百万円）

	2025年1月期 実績	2026年1月期 予想	増減額	増減率
売上高	3,927	3,840	△87	△2.2%
売上総利益	1,249	1,303	＋53	＋4.3%
販管費	947	1,036	＋88	＋9.3%
営業利益	302	267	△34	△11.5%
経常利益	346	297	△49	△14.2%
当期純利益	240	206	△33	△14.0%
1株あたり利益	43.94円	38.60円	△5.34円	△12.2%

Copyright© FUJI ELECTRIC INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved.

11. 2026年1月期　業績予想（製品群別売上高）　修正なし

単位（百万円）

	2025年1月期 実績	2026年1月期 予想	増減額	増減率
制御用開閉器	1,027	1,044	＋16	＋1.6%
接続機器	1,609	1,664	＋54	＋3.4%
表示灯・表示器	501	487	△14	△2.9%
電子応用機器	709	605	△104	△14.7%
仕入販売(※)・ その他	79	40	△39	△49.5%
合計	3,927	3,840	△87	△2.2%

（※）仕入販売は、2025年1月期をもって事業を終息

Copyright© FUJI ELECTRIC INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved.

12. 株主還元

	2022年1月期（64期）	2023年1月期（65期）	2024年1月期（66期）	2025年1月期（67期）	2026年1月期（68期）予想
年間配当金	32円	32円	35円(※1)	32円	32円(※2)
配当性向	96.0%	68.4%	55.5%	72.8%	82.9%

（※1）2024年1月期（66期）の年間配当金は、創業70周年記念配当金3円を含んでおります。
（※2）2026年1月期（68期）予想の中間配当金は、16円（2025年10月1日支払予定）となっております。

【配当の基本方針】

- 目標配当性向：50%
- 年2回配当（中間配当(10月上旬)と期末配当(4月下旬)）
- 長期的、安定的配当

Copyright© FUJI ELECTRIC INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved.

参考資料

当社の概要

不二電機工業株式会社

事業：電気制御機器の製造販売

代表者：代表取締役社長　八木　達史

創業：1953年（昭和28年）

設立：1958年（昭和33年）

資本金：10億8,725万円

売上高：39億2,744万円（2025年1月期）

本社：京都市中京区

従業員数：260名（2026年7月31日現在）
（パートタイマーを含む）

新旭工場（滋賀）

東京オフィス
（東京）

本社（京都）

草津製作所（滋賀）

みなみ草津工場（滋賀）

Copyright© FUJI ELECTRIC INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved.

当社製品群

制御用開閉器

電気を入･切する機器
（スイッチ）
⇒人の操作を電気信号にかえる

接続機器

電線同士や電線と機器を
接続する機器
（端子台･コネクタ）
⇒電気をつなぐ

**4つの
製品カテゴリー**

表示灯･表示器

光ったり色の表示で
状態を表す機器
（ランプ･インジケータ）
⇒人に知らせる

電子応用機器

単機能製品を組み合わせて
複合化した機器
（リレー･電子回路機器）

Copyright© FUJI ELECTRIC INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved.

当社製品群

装置・金型製造

3つのM 'Mechatronics'（メカトロニクス）、'Mold'（金型）、'Manpower Saving'（省人化）を掛け合わせ、相互作用による立体的なエンジニアリングを提供します。

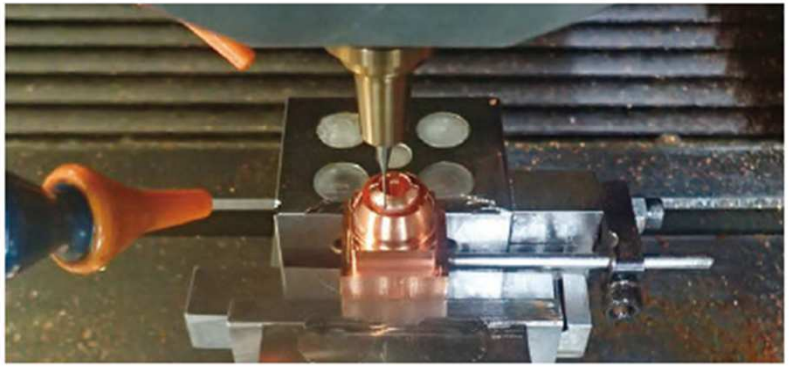
M³（エムキューブ）エンジニアリング部

装置製作

汎用ロボットを使った自動化装置をはじめ、各工程に合った補助装置の提案と装置設計・組立を行っています。さらに、自社ブランド装置の製作及び販売を行います。

金型製作

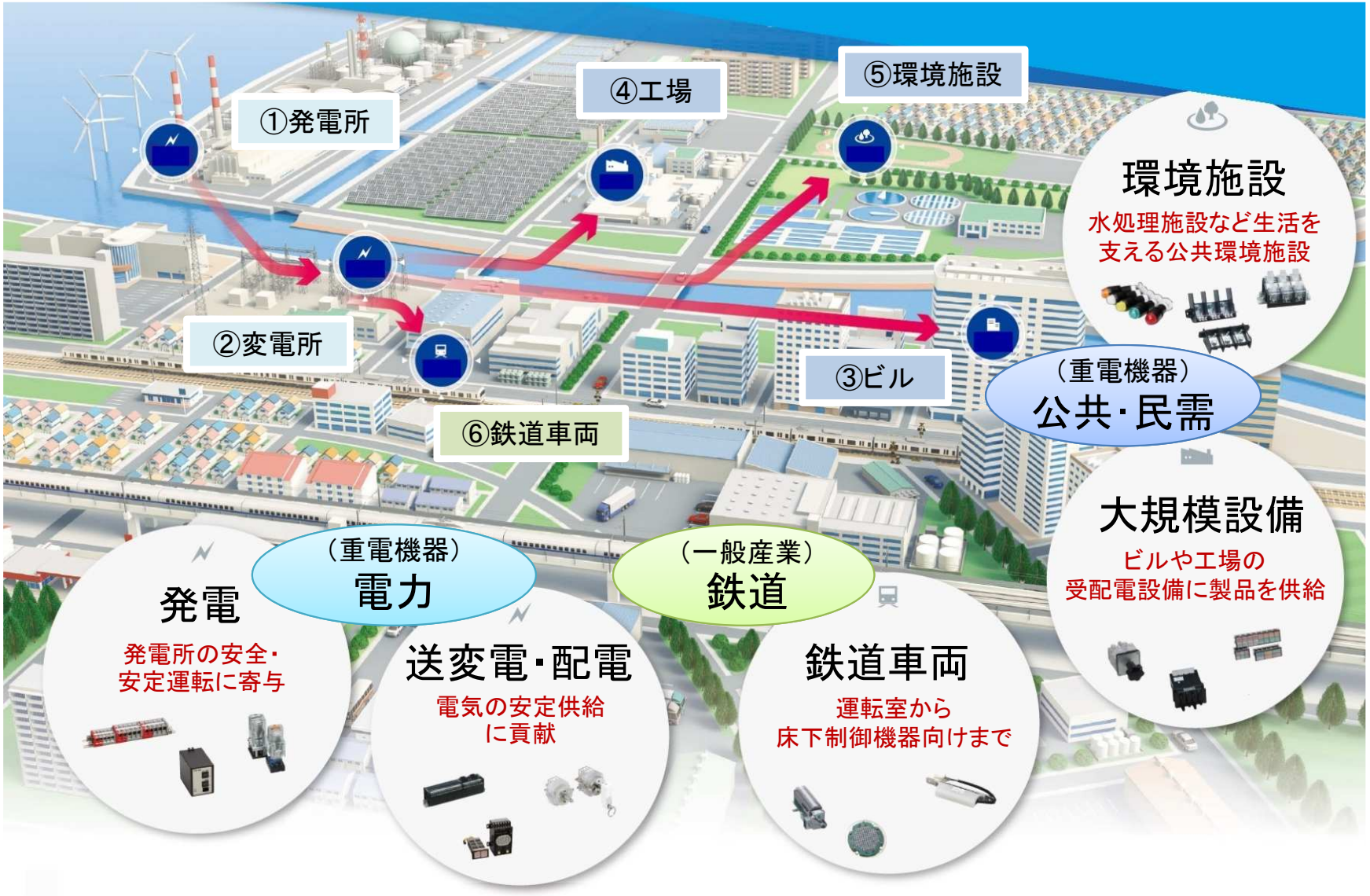
プラスチック成形金型を中心に、新規金型製作や金型のメンテナンスまで幅広く対応を行っています。装置製作で培った技術を応用し市場競争力の高い金型を製作します。



Copyright© FUJI ELECTRIC INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved.

主な市場

人の暮らしを支える社会インフラ向けに 電気制御機器 を提供



Copyright© FUJI ELECTRIC INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved.

重電機器市場における主な製品

発電所・変電所などの
安心・安全な電力供給を
担う設備に使用

Lineup
主な製品
および
代表事例

配電盤・キュービクル

B／BHシリーズ

切替スイッチ・操作スイッチ

B／BHシリーズをはじめとする当社のカムスイッチは、電流計・電圧計用の切替スイッチや遮断器の操作スイッチなど、様々な用途でご使用いただいております。豊富な操作機構と接点構成でお客様の多様なニーズにお応えいたします。

端子台

当社端子台は、信号レベルから大電流まで幅広い電流容量に対応しております。また、耐圧試験やシーケンス試験用の治具を使用することができるTJシリーズなど、付加価値を有した端子台も数多く取り揃えております。

TJシリーズ

TXシリーズ

ATTシリーズ

KTTシリーズ

試験用端子

計器などの指示校正や試験に用いられる製品です。とりわけ差込式のKTTシリーズは30年以上の販売実績を誇るベストセラー製品で、CT回路用は回路が開放しない安全構造を採用しております。

公共施設（水処理施設等）や
太陽光発電設備にも使用

コントロールセンタ

断路部（ジャック）

コントロールセンタを構成するユニットの主回路電源側及び負荷側の断路部に、当社製品をご採用いただいております。
電流容量や母線ピッチ、接続方向など各種ニーズに対応した構造を用意しております。

PDSシリーズ（主回路側）

KJシリーズ（主回路側）

MEJAシリーズ（負荷側）

SJシリーズ（負荷側）

再生可能エネルギー発電設備

遮断端子台（開閉器）

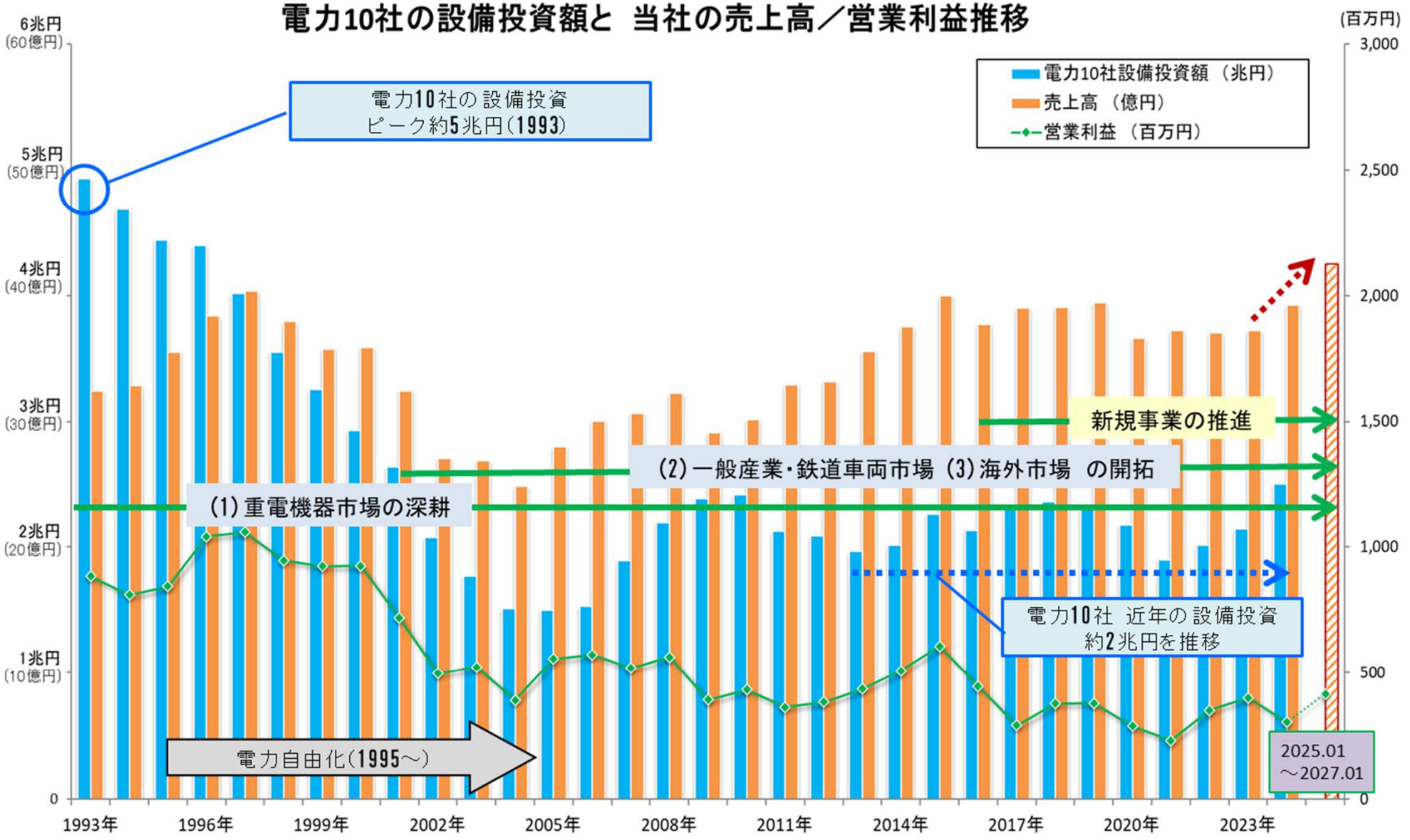
太陽電池ストリングを配線する開閉器に使用されております。SDHシリーズは、DC1000V、13A※の遮断能力を有しておりますので安全なメンテナンスに貢献しております。また端子台と同じくDINレールに搭載可能です。
※使用負荷種別：DC-21Bの場合

SDHシリーズ

Copyright© FUJI ELECTRIC INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved.

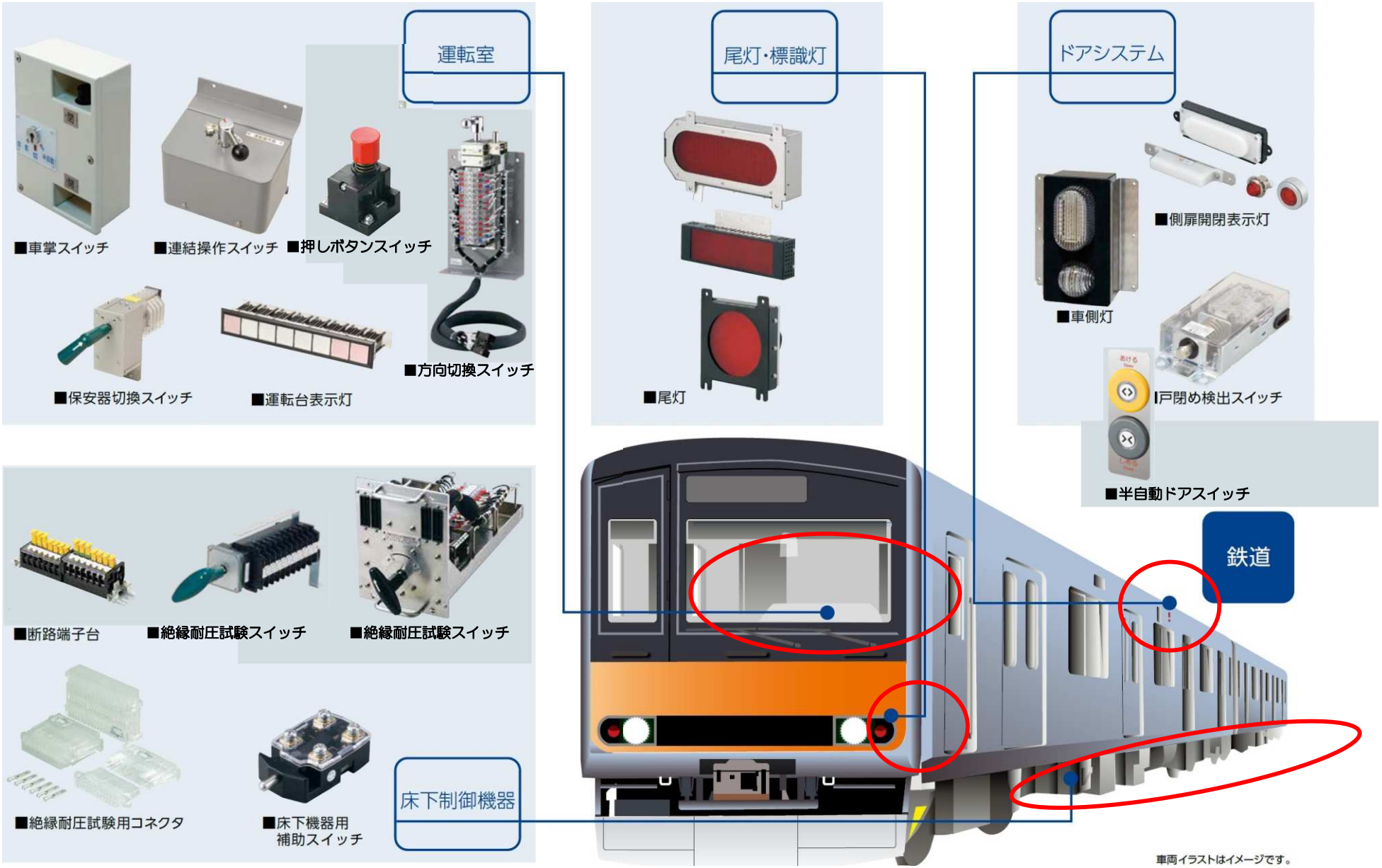
Copyright© FUJI ELECTRIC INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved.

電力会社の設備投資と当社売上高



Copyright© FUJI ELECTRIC INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved.

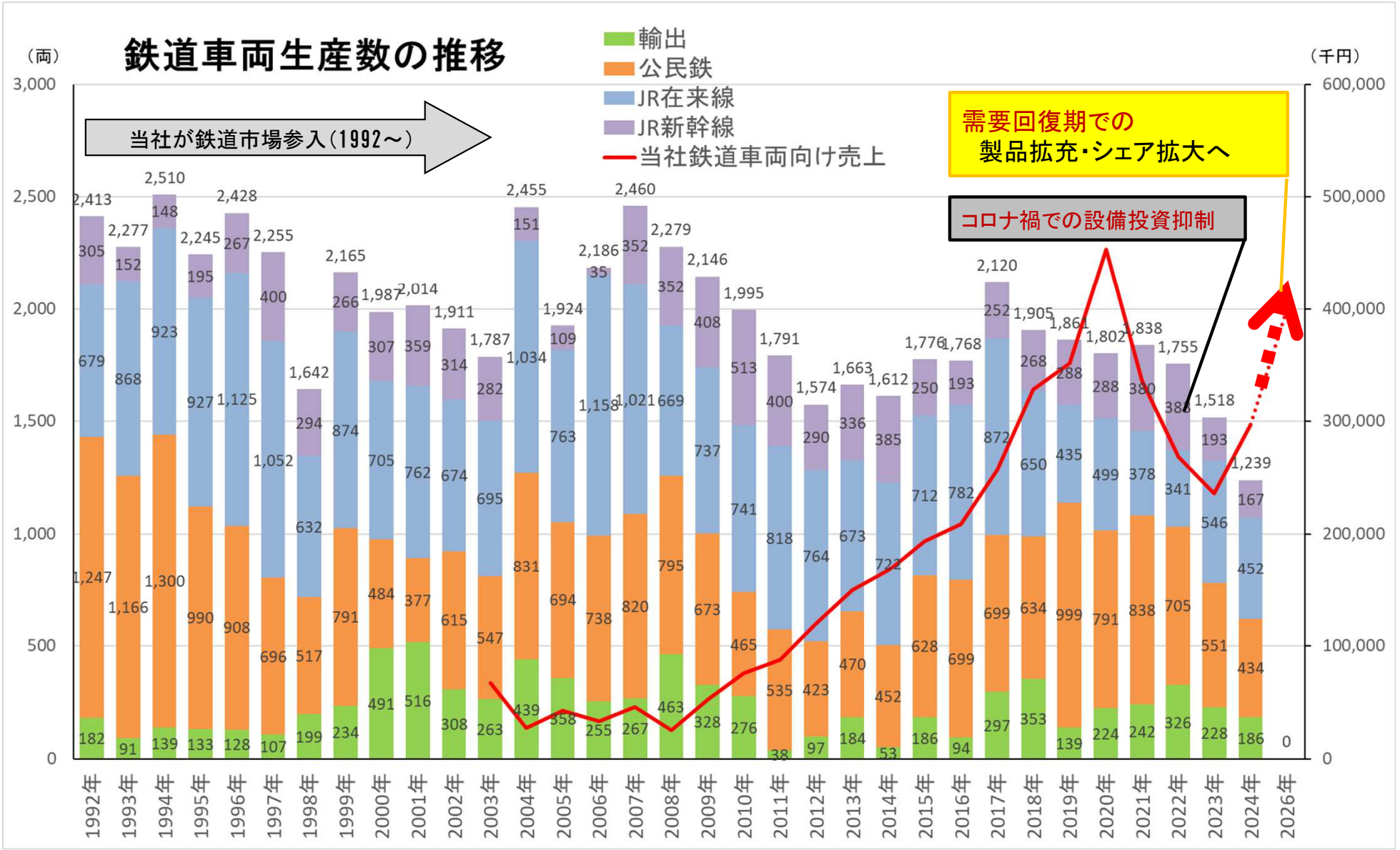
鉄道車両市場における主な製品



Copyright© FUJI ELECTRIC INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved.

Copyright© FUJI ELECTRIC INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved.

鉄道車両生産数と当社売上高



出所）鉄道車両工業会HP「国内生産推移統計データ」https://www.tetsushako.or.jp/

Copyright© FUJI ELECTRIC INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved.

注意事項

本資料は情報提供を目的として作成しているものであり、当社株式の購入等の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料にて開示されている資料は、将来に関する見通し、期待、判断、計画あるいは戦略が含まれております。

この将来予測に基づく記載は、景気動向、マーケット状況、その他潜在的なリスクや不確定要素を含みます。

本資料は、現時点までに入手可能な情報及び将来の経営環境等の前提に基づいており、実際の結果が、今後様々な要因により、記載されている将来見通しとは大きく異なる場合があることをご承知おきください。

また、本資料の情報に関しては、万全を期しておりますが、その情報の正確性及び確実性を保証するものではありません。当社は記載された情報又はデータの誤り、不正確に関して一切責任を負うものではございません。

予告なしに内容が変更又は廃止される場合があります。

Copyright© FUJI ELECTRIC INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved.